大崎町協力隊通信 vol.38

地域おこし協力隊の伊藤です。

宮園地域では、放置竹林を資源として活用する取り組みの一つとして竹灯籠づくりを進めています。竹に触れ、その魅力や活用方法を知るきっかけづくりとして、学校や地域で体験する機会をつくっており、子どもたちから地域の皆さんへと、その輪が少しずつ広がっています。

大丸小学校で竹灯籠づくり

大丸小学校の総合学習で、５・６年生を対象に竹灯籠づくりをおこないました。

６年生は昨年度、「竹の秘密」をテーマに１年間学習してきた経験があり、竹灯籠づくりも２回目。その知識と経験を生かして穴を開け、器具の使い方も慣れた手つきで完成させました。

穴開けに使うインパクトドライバーは人数分ないため、順番に使う必要がありましたが、６年生が率先して５年生に譲る姿が印象的で全体が見えているなと感心しました。学んだことを次の学年へ伝える、頼もしい姿を見ることができました。

公民館で竹灯籠づくり

梢ケ山のサロンから「竹灯籠づくりを教えてほしい」と依頼を受け、梢ケ山公民館を訪れました。当日は10人が参加し、竹へのデザイン決めから穴開けまで、一つひとつ教わりながら作業を進めました。初めてインパクトドライバーを使う方もいましたが、次第に操作にも慣れ、それぞれの個性が光る竹灯籠が完成しました。

学校で、サロンで竹灯籠づくりが地域へと広がり、竹を通じた交流の輪が少しずつ大きくなっています。これからも竹灯籠づくりを通して、竹の魅力や地域のつながりを育んでいきます。

【お問い合わせ】 農林振興課 林務水産係（内線506）　担当：鶴野、米永　☎476-1111（平日８：30～17：15まで）